



「子が宝なら母もまた宝」

子育て講演会・日野町少年センター研修会



▲自己肯定感を高めるためのポイントをたくさん教えてくださいました

2月14日（金）、日野公民館で子育て講演会と日野町少年センター研修会が合同で行われました。

講演では、子育てカウンセラー・心療内科医の明橋大二三さんが、保護者の視点、子どもの視点、カウンセラー・医師の視点などさまざまな視点から子育てについてお話されました。

明橋さんは「こころの土台は自分が大切な存在だという自己肯定感でできています。他の子どもと比べるのではなく、以前のその子と比較して、ほめてあげましょう。そして、子が宝なら母もまた宝。肩の力を抜いて子育てを楽しみましょう」と話され、参加者の皆さんは、うなずきながら聞いておられました。

たくさんのお雛様がお迎え

日野ひなまつり紀行

2月9日（日）から3月9日（日）までの間、大窪から村井・西大路にかけての一带で日野ひなまつり紀行が開催されました。日野ひなまつり紀行は今年で7回目となり、今年は、観光バス等で約一万人の方が訪れました。

各家庭や街角など約200か所に飾られたお雛様が、訪れた方をお迎えしていました。日野観光協会（日野まちかど感応館）では、子ども達がお雛様・お内裏様の衣装を着ることができ、華やかに変身した子ども達は少し緊張しながらも治道からの声に笑顔で応えていました。



▲お雛様、お内裏様に変身しました



▲人力車に乗って街中へ



▲通りはたくさんの人でにぎわいました



まぢの

人形達の冒険を鑑賞

日野町立図書館「にんぎょうげき」

3月1日(土)、日野町立図書館で「にんぎょうげき」が行われました。湖南市で活躍されている人形劇サークルおにぎり村の皆さんによる人形劇では、使われる人形や大道具、物語などが手作りされています。

女の子が雨の日にお出かけする物語や、おじいさんが蛇に食べられないよう奮闘するおばあさんの物語など、楽しいお話の世界に、参加者の皆さんは夢中になって人形劇を鑑賞していました。人形劇はブラクライトを使うなど、さまざまな工夫がされ、子ども達は、白い服が光る様子に驚いていました。



▲たくさん子ども達と一緒に驚いたり笑ったりして人形劇を楽しみました

掃除から学ぶこと

必佐小学校6年生が校舎のトイレを掃除

3月5日(水)、必佐小学校6年生が、6年間お世話になった学校のトイレを掃除しました。児童の皆さんは、滋賀掃除に学ぶ会の方から掃除のコツとともに「掃除は心を磨くこと」と心を込めて掃除する大切さを教わりました。学校中のトイレの便器、壁、床、換気扇などをすべてピカピカに磨き上げた児童の皆さんは「きれいになっていくトイレを見て、トイレ掃除を楽しいと思った」「トイレを2時間も掃除するのがかと思っただけで、細かいところの掃除の仕方まで教わって、何事も見えないことまでちゃんとやる大切さを学んだ」と話してくれました。



▲児童全員が心を込めてトイレを掃除しました

地域を駆け抜けるマラソン大会

第1回らんランRUNひのチャレンジマラソン

3月9日(日)、西大路小学校グラウンドをスタート・ゴールに第1回らんランRUNひのチャレンジマラソンが行われました。第1回目となる今大会には、3kmと10kmの種目に小学3年生から70歳までの約240人が参加されました。選手の中には、スタップや地域の方のあたたかい声援の中、力いっぱい走り抜きました。会場には協力団体によるカレーライスや団子汁などの模擬店、餅つきなどの交流イベントも行われ、参加者はゴール後に、家族や友人と共に、冷えた体を温め、疲れを癒やしました。



▲餅つきで参加者と交流



▲寒空の中、元気に走り抜ける参加者の皆さん